

eatrip city

#007

Ginza



Sony Park

creatures

April 20 Sat — May 24 Fri, 2019

水が巡り、命は続く。

水が枯れると、体は枯れ、心は枯れ、命は枯れる。

水が満ちると、体は満ち、心は満ち、命は満ちる。

水が溢れると、体は溺れ、心は溺れ、命は溺れる。

水も満月と新月のように満ち欠けしている。

水源から水路をひいてくる。

水は巡る。

水源にはさらにその水源があり、

水源の源は宇宙に浮かぶ地球。

ひと雫の水滴ともすべての水は

分かちがたくつながっている。

命は常に水源を求めてやまない。

未知の水源は、暗闇の中で一人孤独に探さなければいけない時もあり、

未知の水源は、仲間と共に見つけなければいけない時もある。

消費はすでに快樂ではなく、

生産と創造とが未来の種となる。

生産と創造は、暗闇の中で一人孤独に取り組まなければいけない時もあり、

生産と創造は、仲間と共に取り組まなければいけない時もある。

命は未知の水源により再生され、

絶え間ない生産と創造を起こす。

それは常に現在の出来事である。

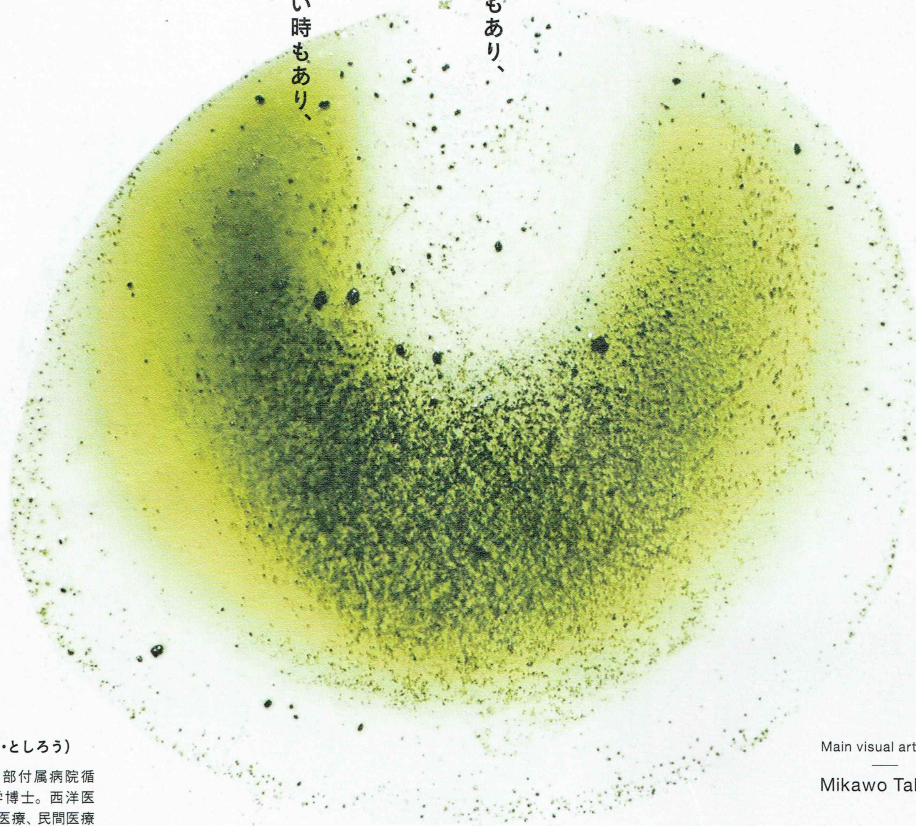
過去は記憶として立ち現れ、

現在は直観として立ち現れ、

未来は期待として立ち現れる。

わたしたちの命は常に現在である永遠という次元に立っている。

稲葉俊郎



Main visual artwork
Mikawo Takagi

稲葉俊郎 (いなば・としろう)

医師、東京大学医学部付属病院循環器内科助教、医学博士。西洋医学や伝統医療、代替医療、民間医療など広く修める。2018年、野村氏が企画・演出したイベント「食の鼓動-inner eatrip」は、医師としての経験から「食とは生きること」と話す稲葉氏との出会いがきっかけ。今回もアドバイザーとして協力いただいた。



@ginzasonypark #銀座ソニーパーク #ginzasonypark

www.ginzasonypark.jp



主催：Ginza Sony Park 企画・制作：野村友里 (eatrip)、Ginza Sony Park ディレクション：遠藤豊、中原実 (LUFTZUG) アートディレクション：樋口裕馬 会場構成：中原崇志
メインビジュアルアートワーク：たがみかを イラストレーション：山口洋佑 文：稲葉俊郎